

受検番号

--	--	--	--

令和6年度

適性検査 I

(9時15分～10時05分<50分>)

注 意

- 1 指示があるまで、問題用紙を開いてはいけません。
- 2 解答用紙は1枚で、問題用紙にはさんであります。
- 3 答えはすべて解答用紙の決められたところに、はっきりと書きましょう。
- 4 問題は□1から□4まであり、表紙を除いて20ページです。
- 5 印刷のはっきりしないところは、手をあげて係の先生に聞きましょう。
- 6 受検番号を問題用紙と解答用紙の決められたらんに記入しましょう。

川口市立高等学校附属中学校

次の文章を読んで、あとの問いに答えましょう。(字数指定のある問題は、句読点や「」などの記号も一字と数えます。)

あらすじ

「ぼく(太二)」の所属するテニス部では、一年生がグーパーじゃんけん(=グーパーで、出した人数の多いほうが勝ちとなるじゃんけん)をして、負けた側がコート整備をすることになっていた。前日のコート整備では、武藤がみんなに「パー」を出させ、「グー」を出した末永ひとりがコート整備をしていた。

もしかすると、みんなは今日も末永をハメようとしていて、自分だけがそれを知らされていないのかもしれない。もしかすると、きのうのしかえしに、末永がなにかしかけようとしているのかもしれない。もしかすると、二、三人の仲の良い者どうして*もうしあわせて、たとえ負けてもひとりにはならないように安全策をこうじているのかもしれない。

①ウラでうちあわせ可能な手口がつぎつぎ頭にうかび、これはおもっている以上に厄介だと、ぼくは頭を悩ませた。

やはりキャプテンの中田さんに助けをもらうしかない。そうおもったが、それをおもいとどまったのは、きのうから今日にかけて、一番きついおもいをしているのは末永だと気づいたからだ。末永以外の一年生部員二十三人は、②自分が*加担した悪だくみの*ツケとして不安におちいっているにすぎない。それに対して末永は、今日もまたハメられるかもしれないという恐れをかかえながら朝練に出てきたのだ。最終的に中田さんに頼むとしても、まずはみんなで末永にあやまり、そのうえで相談するのが筋だろう。

そう結論したのは、三時間目のおわりぎわだった。おかげで授業はまるで頭にはいっていなかったが、ぼくはようやく③自分のすべきことがわかった気がした。そこでチャイムが鳴り、トイレに行こうと廊下に出ると、武藤が顔をうつむかせてこっちに歩いてくる。

「よお。」

「おっ、おお。」

武藤はおどろき、気弱げな笑顔をかべた。そんな姿は見たことがなかったので、もしかすると自分から顧問の浅井先生かキャプテンの中田さんにうちあけたのではないかと、ぼくはおもった。たっぷり怒られるだろうが、それで*ケリがつくならかまわなかった。

それなら、昼休みには浅井先生か中田さんがテニスコートに来るはずだ。

給食の時間がおわり、ぼくはテニスコートにむかった。しかし集まったのは一年生だけだった。

④ぼくは*落胆すると同時に自分の甘さに腹が立った。

いつものように二十四人で輪をつくったが、誰の顔も緊張で青ざめている。末永にいたっては、歯をくいしばりすぎて、こめかみとあごがぴくぴく動いていた。いまさらながら、ぼくは末永に悪いことをしたと反省した。

しかしこんな状況で、きのうはハメて悪かったと末永にあやまったら、どんな展開になるかわからない。武藤をはじめとするみんなからは、よけいなことを言いやがってとうらまれて、末永だって怒りのやり場にこまるだろう。

だから、一番いいのは、このままふつうにグーパーじゃんけんをすることだった。うまく分かれてくれればいいが、偶然、グーパーがひとりになる可能性だってある。ハメるつもりがないのに、末永がまたひとりになってしまったら、事態はこじれて收拾がつかなくなる。

みんなは青ざめた顔のまま、じゃんけんをしようとしていた。どうか、グーとパーが均等に分か

れてほしい。

こぶしを顔の横に持ってきたとき、ぼくの頭に父の姿がうかんだ。一緒にテニススクールに通っていたころ、父は試合で*会心のショットを決めると、応援しているぼくたちにむかってポーズをとった。ぼくや母も、同じポーズで父にこたえた。

「グーパー、じゃん。」

⑤かけ声にあわせて手をふりおろしたぼくはチョキをだしていた。本当はVサインのつもりだったが、この状況ではどうしたってチョキにしか見えない。ぼく以外はパーが十五人でグーが八人。末永はパーで、武藤と久保はグーをだしていた。

ぼくが顔をあげると、むかいにいた久保と目があった。

「太二、わかったよ。おれもチョキにするわ。」

久保はそう言ってグーからチョキにかえると、とがらせた口から息を吐いた。

「なあ、武藤。グーパーはもうやめよう。」

久保に言われて、武藤はくちびるを隠すように口をむすび、すばやくうなずいた。そして、武藤は握っていたこぶしから人差し指と中指を伸ばすと、ぼくにむかってその手を突きだした。

武藤からのVサインをうけて、ぼくは末永にVサインを送った。末永は自分の手のひらを見つめながらパーをチョキにかえて、輪のなかにさしだした。

「明日からのコート整備をどうするかは、放課後の練習のあとで決めよう。時間もないし、今日はチョキがブラシをかけるよ。」

そう言って、ぼくが道具小屋にはいると、何人かの足音がつづいた。ふりかえると、久保と武藤と末永のあとにも四人がついてきて、ぼくは八本あるブラシを一本ずつ手わたした。

コート整備をするあいだ、誰も口をきかなかった。ぼくの横には久保がいて、ブラシとブラシが離れないように歩幅をあわせて歩いていると、きのうからのわだかまりが消えていく気がした。

※一部表記の変更があります。

(佐川光晴「四本のラケット」より。『短編少年』所収)

(注)

*もうしあわせる……話し合いで約束する。

*加担する……協力すること。仲間になること。

*ツケ……よくない行いをしたことで、後からその行いに応じた結果やむくいを受けること。

*ケリがつく……物事が終わる。片づく。

*落胆……がっかりすること。

*会心……思い通りで満足すること。

問1 ــــــــــــــــ線部①「ウラでうちあわせ可能な手口がつきつき頭にうかび、これはおもっている以上に厄介だと、ぼくは頭を悩ませた。」、ــــــــــــــــ線部②「自分が加担した悪だくみのツケとして不安におちいっているにすぎない」とありますが、次の空らん a・b・c・d にあてはまる漢字を書き入れて、それぞれの状況を言い表した四字熟語を完成させましょう。

① 心 鬼^き ② 業^{ごう}自

問2 ــــــــــــــــ線部③「自分のすべきことがわかった」とありますが、「ぼく」は解決のためにはどうすることが必要だと考えたのですか。「こと。」に続くように、30字以上40字以内で書きましょう。

問3 ــــــــــــــــ線部④「ぼくは落胆すると同時に自分の甘さに腹が立った。」とありますが、このときの「ぼく」はなぜ「落胆」し、どんなことに対して「腹が立った」のですか。次の文中の空らん A・B にあてはまる言葉を、それぞれ「期待」という言葉を使って、Aは35字以上45字以内、Bは20字以上30字以内で書きましょう。

一年生みんなが末永をハメたことについて、 ので落胆し、 ことに腹が立った。

問4 ــــــــــــــــ線部⑤「かけ声にあわせて手をふりおろしたぼくはチョコキをだしていた。」とありますが、久保は「ぼく」のこのような行動にどのような思いがこめられていると考えましたか。「という思い。」に続くように、文章中から11字でぬき出して書きましょう。

問5 文章中の「ぼく」の心情の変化について説明したものとして最も適切なものを、次のア～エから一つ選び、記号で答えましょう。

ア 前日の出来事の内容を、先生やキャプテンにどのように報告したらよいかわからなかったが、まわりの一年生部員たちに行動を起こす気がないことを知り、迷いながらも最後には心の内を打ち明ける勇気を出している。

イ 前日の出来事について一人で思い悩んでいたが、その後にまわりのみんなの緊張した様子や末永のおびえた態度を見て責任を感じ、自分から進んで行動して末永に対しあやまったことで、心の中がすっきりとしている。

ウ 前日の出来事が気がかりで授業中も考えこんでいたが、自分がとっさにとった行動をきっかけに部員たちの気持ちやふるまいが変わり、彼らと気持ちが通い合ったように感じて、心の中のもやもやがなくなっている。

エ 前日の出来事をきっかけにみんなの様子がおかしくなってしまったことに悩んでいたが、自分なりの解決方法を提案し、最後には末永にゆるしてもらえたことで、末永や他のみんななどの友情の深まりを感じている。

2 次の文章を読んで、あとの問いに答えましょう。

ヒトは発明の天才だ。例えば、遠くへ行きたい、速く移動したい、楽に物を運びたいという欲求に対しては、車輪を発明し、家畜を使うことから始まって、やがては自動車、大型船舶、飛行機などを発明するに至った。ヒトは「AがあればBが起こる」ということを、単にAとBの連合として認識するばかりでなく、「AはBの原因ではないか」という、*因果関係の推論ができる。そこで、自然界の現象の観察や、自ら行うさまざまな試行錯誤の中で、「こうすればもっとよくなるだろう」という工夫を重ねていく。そこで、技術がどんどん進歩していく。

貨幣というものも、そうやって人間が発明したものだ。元々は、①が物々交換をしていたのだろう。しかし、そんなうまく双方の欲望が合致する相手に会うことは難しい。そこで、いくつかの段階を経て、どんなものとも交換することのできる、抽象的な価値を持つ「貨幣」が発明された。

交換と交易の歴史は非常に古く、何万年も前までさかのぼれるようだが、*貨幣経済は*進化的に言えばごく最近のことである。どんなものにも変えることができる抽象的な価値とは、とんでもない発明だと思う。以前、東大名誉教授の岩井克人先生と話していた時、「貨幣の発明は言語の発明に次ぐすごい発明だ」とおっしゃっていた。その時は、そこまでのことはないだろうと軽く考えていたのだが、最近、やはり岩井先生のおっしゃる通りではないかと思い始めた。

それは、貨幣というものが、確かに人間の生活を変え、世界を見る目を変え、欲望のあり方を変え、人生観を変え、結局のところ*人間性を変えてきているように思うからだ。貨幣経済の真ただ中で暮らしている私たちにとって、貨幣は当たり前存在だが、ヒトという生物にとって、こんなもの存在は決して当たり前ではなかった。そして、②大量の砂糖や脂肪の存在に私たちの脳も体もうまく対応できていないのと同じく、この貨幣という存在にも、実は私たちの脳はうまく対応できていないのではないだろうか？

ヒトが狩猟採集生活をしていた頃、ヒトは自分たちの手で集められる食料を食べ、自分たちの手で作れる道具や衣服を使って暮らしていた。できることは限られていたし、望めることには限度があった。まさに等身大の生活である。それ以上の世界の可能性を知らなければ、欲望にも限りがあった。「欲しい物」というのは③な物であり、それを手に入れる方法は限られていた。そして、ヒトはそのことを知っていた。

しかし、何にでも交換できる抽象的な価値が手に入るようになると、それ自体を得たいという新たな欲望が生まれる。「*金の亡者」は、何か特定の物が欲しいから貨幣を得るのではない。ともかく貨幣をためることが何にもまして大事な目的なのだ。そこには限度がない。

また、何にでも交換できる抽象的な価値は、人間関係を買うことも、幸せな気分を買うこともできる。貨幣がない時には、人間関係を築いていなければできなかったことが、個別の人間関係抜きに手に入る。逆に、貨幣なしではほとんど何もできない。

そして、今では、貨幣を手に入れることは一つの職業につくことである。一つの職場で一つの仕事をし、その*対価に貨幣をもらう。そうすると、ヒトは、自分が独立して生きていると思う。本当は、今でも狩猟採集生活時代と同じように、みんなで共同作業をすることで生きているのだ。農家がいなければお米も野菜もない。物流や商店がなければ、買うことができない。医者がいなければ病気を治せない。学校の先生がいなければ教育ができない。今でも、みんなとともに生き、生かされて暮らしているのだが、それぞれに貨幣が*介在しているので、共同という感覚がなくなる。便利なものには必ず負の面がある。ちょっと立ち止まって考えてみた方がよい。

※一部表記の変更・省略があります。

(長谷川真理子「モノ申す人類学」より)

(注)

*因果……原因と結果。

*貨幣経済……商品やサービスの交換が、貨幣によって行われる経済の形態。

*進化史……進化の歴史。

*人間性……人間の^{ほんしやう}本性。人間らしさ。

*金の亡者……お金への欲やこだわりが強すぎる人。

*対価……人に労力などをあたえた場合に、その見返りとして受け取るもの。

*介在……2つのものの中に存在すること。

問1 文章中の にあてはまる内容として最も適切なものを、次のア～エから一つ選び、記号で答えましょう。

ア 「Xを持っているがYは持っていない、かつ、Xは手放したくないがYを欲しいと思っている人」と、「Yを持っているがXは持っていない、かつ、Yは手放してもよいがXを欲しいと思っている人」と

イ 「Xを持っていないがYを持っている、かつ、Xは欲しいがYを手放してもよいと思っている人」と、「Yを持っていないがXは持っている、かつ、Yを欲しいと思っているがXを手放したくないと思っている人」と

ウ 「Xを持っているがYは持っていない、かつ、Xは手放してもよいがYを欲しいと思っている人」と、「Yを持っているがXは持っていない、かつ、Yは手放したくないがXを欲しいと思っている人」と

エ 「Xを持っているがYは持っていない、かつ、Xは手放してもよいがYを欲しいと思っている人」と、「Yを持っているがXは持っていない、かつ、Yは手放してもよいがXを欲しいと思っている人」と

問2 —————線部②「大量の砂糖や脂肪の存在に私たちの脳も体もうまく対応できていないのと同じく、この貨幣という存在にも、実は私たちの脳はうまく対応できていないのではないだろうか？」とありますが、筆者は砂糖や脂肪を例に挙げて、貨幣についてどのようなことを説明しようとしていますか。筆者が書いた別の作品の一部である次の【文章】の内容をふまえ、あとの文中の空らんAにあてはまる言葉を10字以上15字以内でまとめて書きましょう。また、空らんBにあてはまる言葉を【文章】中から7字でぬき出して書きましょう。

【文章】

*ホモ・サピエンスの進化を通じて、いや、*ホモ・エレクトスから、いや、それを言えば、動物の進化の全歴史を通じて、^{あま}甘い物や脂肪がいくらかでもあって、食べただけ食べられるなどという^{じょうきょう}状況は、ごく最近の人間社会になるまで、一度もなかったのです。一度もなかった事態に対する歯止めの仕組みは、進化で作ろうにも作ることは不可能です。
(長谷川眞理子「ヒトはなぜ病気になるのか」より)

(注)

*ホモ・サピエンス…現在の人類のこと。

*ホモ・エレクトス…現在の人類の祖先にあたる原人。

貨幣は、 ものであるから、ヒトの脳内に欲望への が備わっておらず、私たちは貨幣という存在にうまく対応できていないということ。

問3 には、「抽象的」の反対の意味を表す言葉が入ります。その言葉を漢字3字で書きましょう。

問4 貨幣が発明される前と発明された後では、ヒトの欲望はどのように変わりましたか。次の文中の空らんにあてはまる言葉を、「交換」「目的」「限度」という言葉を全て使って、45字以上55字以内で書きましょう。

貨幣が発明される前は、ヒトの欲望にも、それを手に入れるための方法にも限度があったが、貨幣が発明された後は、貨幣は、

問5 筆者の主張として最も適切なものを、次のア～エから一つ選び、記号で答えましょう。

ア 貨幣の発明がヒトの生活を便利にしたが、貨幣が直接ヒトを幸せにはできないことを理解し、自らの欲望による金もうけよりも、人間の共同生活に不可欠な農家や医者たちの利益を優先すべきである。

イ 貨幣の発明でヒトは何でも手に入れられるようになり、自分ひとりで生きているという感覚が強くなったが、他の人との共同によってお互い^{たが}が生かされているという本質を忘れてはならない。

ウ 貨幣によってヒトの生活は豊かになったが、一方で貨幣がなければ何もできないあやうい社会になったということも受け入れ、貨幣を通じた交流で新たに共同の意識を築いていかなければならない。

エ 貨幣で物以外の価値も買える世の中になり、貨幣はヒトの暮らしに不可欠なものになったが、真に暮らしを支えているのはヒトだと自覚し、昔のような貨幣に重きを置かない暮らしを取りもどしていくべきである。

3

ゆりさんとたろうさんは、川について調べています。あとの問いに答えましょう。

問1 ゆりさんとたろうさんの会話文を参考にして、【資料1】～【資料4】から読み取れることとして最も適切なものを、あとのア～エから一つ選び、記号で答えましょう。

ゆり：^{かわぐち}川口市と^{とうきょう}東京都の境を流れる^{あらかわ}荒川について調べていて、今は^{ほうすいろ}荒川放水路の資料を集めているところなんだ。

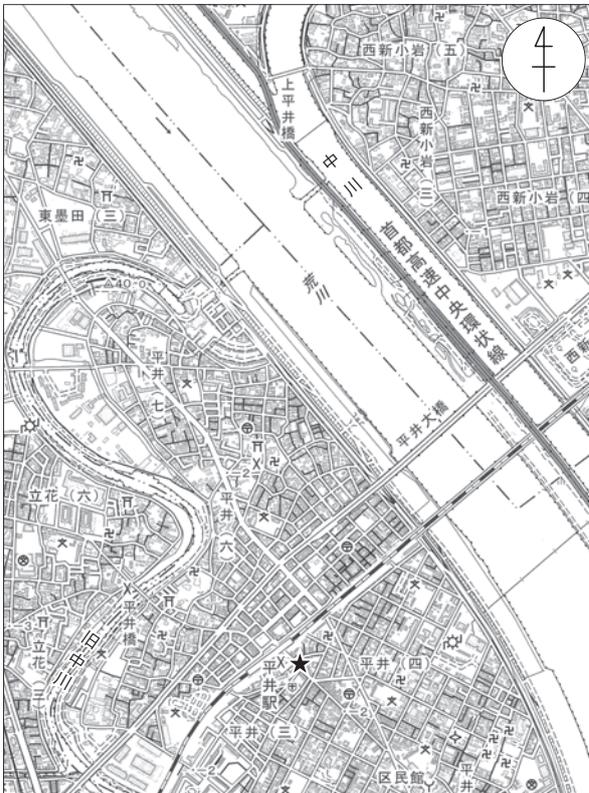
たろう：荒川放水路は、^{こうずい}洪水を防ぐために作られた水路で、現在は「荒川」と呼ばれているよね。

ゆり：そうだよ。もとは、今の^{すみだがわ}隅田川が流れているところに荒川が流れていたんだけど、洪水が起こらないように、荒川放水路を作ってそこに水が流れるようにしたんだ。1911年に荒川放水路を作るための工事が始められて、1924年には荒川放水路に水を通したんだって。そのあと、1930年に完成したよ。

たろう：2024年には、荒川放水路に水を通して100周年になるわけだね。荒川放水路が作られる前はどんな様子だったのか気になるな。

ゆり：【資料1】は、現在の^{えどがわ}江戸川区の^{ひらい}平井駅（★印の位置）周辺の地図で、【資料2】は、荒川放水路ができる前の、同じ地域の地図だよ。【資料2】で北から南に流れている^{なかがわ}中川は、現在では中川と旧中川に分断されているね。荒川放水路に沿って現在の中川ができた様子や、どのように地域が変わったかが、【資料1】と【資料2】の間の時期の地図である【資料3】と【資料4】からわかるね。

【資料1】地図（2015年）



（国土地理院2万5千分の1地形図「東京首都」^{れいわ}令和5年を一部改変）

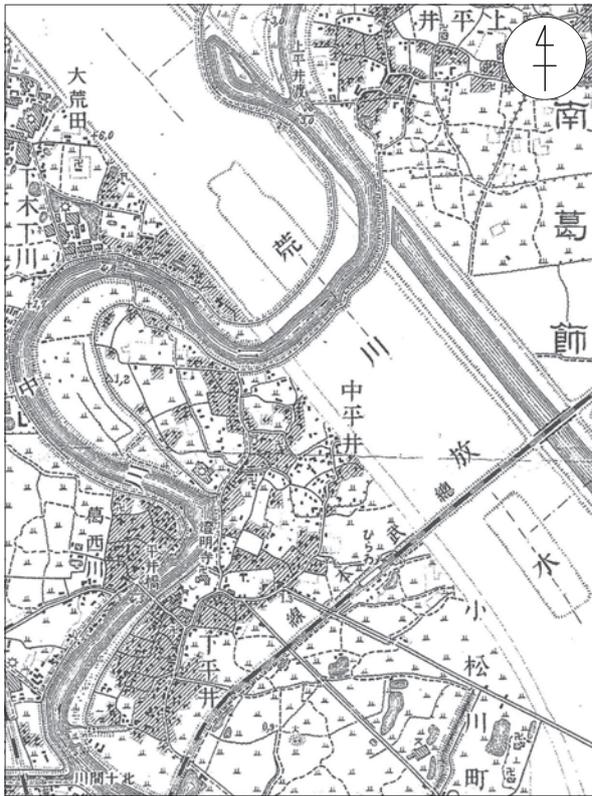
【資料2】地図（1909年）



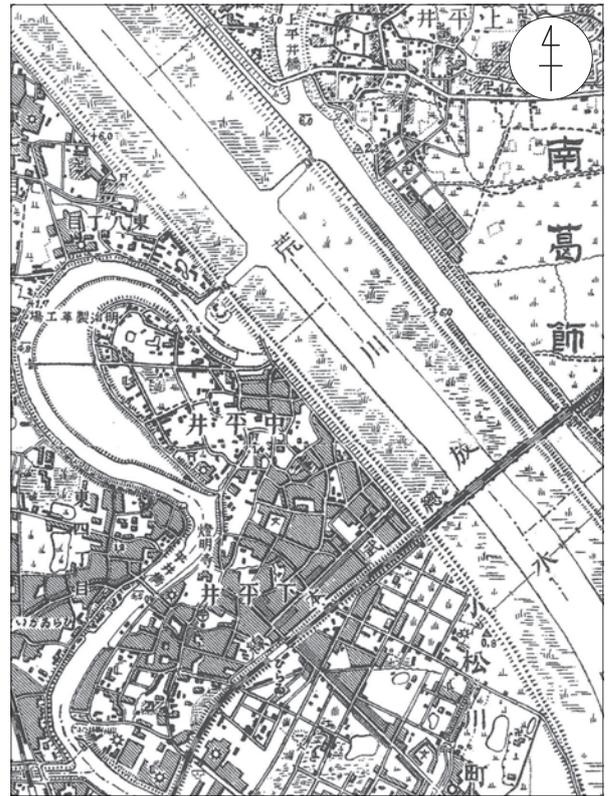
※資料2は、125%に拡大し、2万5千分の1地形図と範囲と大きさを合わせている。

（2万分の1正式図「東京東部」^{めいじ}明治42年）

【資料3】地図（1917年）



【資料4】地図（1930年）



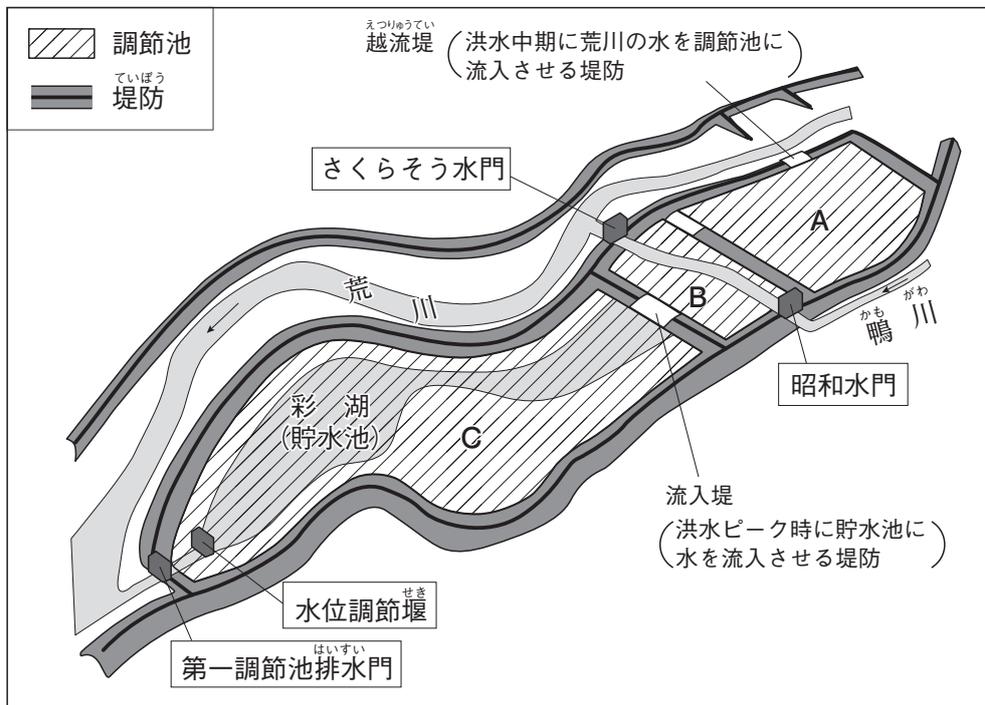
(国土地理院2万5千分の1地形図「東京首部」大正6年) (国土地理院2万5千分の1地形図「東京首部」昭和5年)

- ア 荒川放水路に水が通されたのは【資料2】と【資料3】の間の時期で、【資料3】の時期には荒川放水路も完成していた。
- イ 荒川放水路に水が通されたのは【資料2】と【資料3】の間の時期で、【資料4】の時期には総武本線の鉄道が通る橋も完成していた。
- ウ 荒川放水路に水が通されたのは【資料3】と【資料4】の間の時期で、【資料3】の時期にはまだ中川と旧中川に分断されていなかった。
- エ 荒川放水路に水が通されたのは【資料3】と【資料4】の間の時期で、【資料4】の時期にはひらみ(平井)駅は南東方向に移転していた。

問2 ゆりさんとたろうさんは、荒川の河口から29km～32km付近に位置する荒川第一調節池について話をしています。洪水のピーク時（流量が最大になったとき）には、【資料5】のA～Cのすべての範囲に川からの水が流れ込みます。【資料5】中の表は、水門や排水門の開閉状態を示したものです。洪水初期、洪水中期に水が流れ込む範囲の組み合わせとして正しいものを、【資料5】を参考にして、あとのア～エから一つ選び、記号で答えましょう。

ゆり：荒川第一調節池には、水をためることができる貯水池の彩湖があるんだよね。
 たろう：そうだよ。彩湖にためておいた水は、荒川を流れる水が少なくなったときに、飲み水として使うこともできるし、台風などで荒川が増水したときには、一時的に彩湖に水をためておくことで、下流の洪水を防ぐことができるんだ。彩湖では、【資料5】のようなしくみで、洪水を防いでいるんだって。

【資料5】荒川第一調節池のしくみ



	さくらそう水門	昭和水門	第一調節池排水門	水位調節堰
	鴨川の水を荒川に流す施設。洪水時に水門を閉めることで、調節池と川の間ので防の役割を果たす。	鴨川の水を荒川に流す施設。洪水時に水門を閉めることで、調節池と住宅地などとの間の防の役割を果たす。	洪水時に閉めることで、下流に流れる水量を減らす。洪水ピーク時に荒川の流量が減った場合は排水することもある。	貯水池の水位を調整する施設。荒川から貯水池への逆流も防止する。
平常時	開く	開く	開く	閉じる
洪水初期	開く	開く	閉じる	閉じる
洪水中期	閉じる	閉じる	閉じる	閉じる

(関東地方整備局資料をもとに作成)

- ア 洪水初期：A 洪水中期：AとB イ 洪水初期：A 洪水中期：BとC
 ウ 洪水初期：B 洪水中期：AとB エ 洪水初期：B 洪水中期：BとC

渋沢栄一

問2

問3①

から。

②

キャッシュレス決済が増えることで、

令和6年度 適性検査Ⅰ 解答用紙

3

問1

問2

問3

問4

4

問1

北里柴三郎

津田梅子

問3 ゆりさんとたろうさんは、川で洪水が起こったときの避難経路について話をしています。

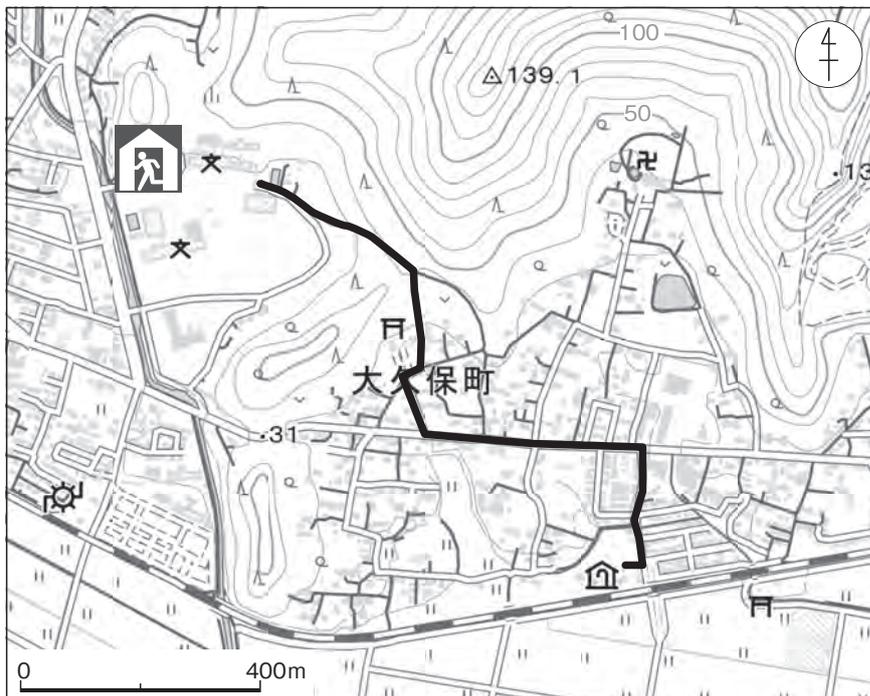
【資料6】には、ゆりさんが説明している避難所までの経路が示されています。この避難経路の断面図として正しいものを、あとのア～エから一つ選び、記号で答えましょう。

ゆり：洪水が起こらないようにすることも大事だけれど、起こったときにどう行動することも大切だね。だから、避難するときのルートについて、考えているんだ。

たろう：家の周辺ならすぐに考えられるけれど、あまり知らない場所の避難ルートを考えるのは難しそうだね。

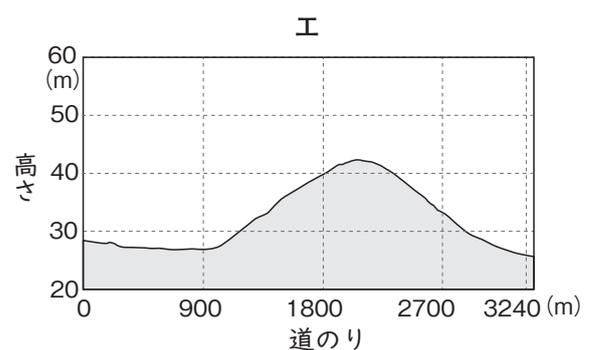
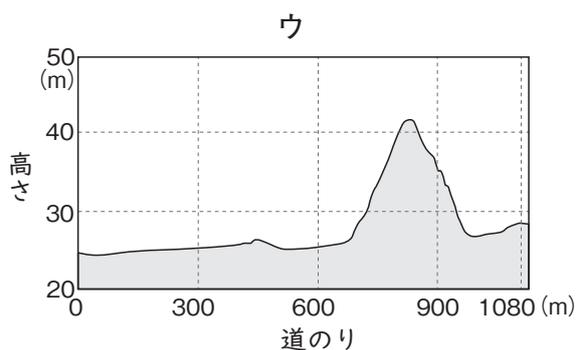
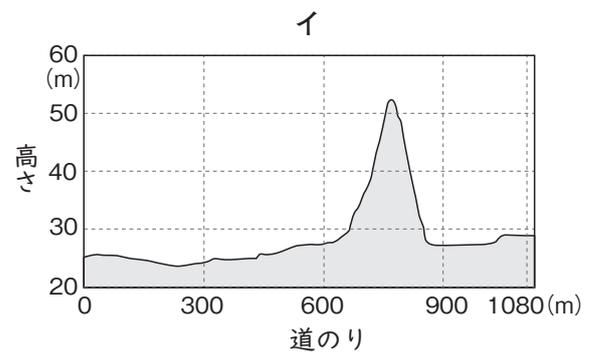
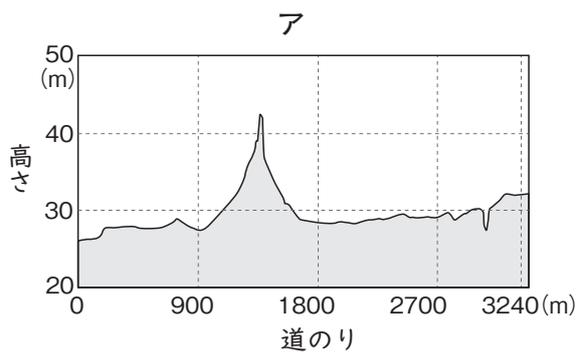
ゆり：地図を見ると、わかることもあるよ。この【資料6】を見て。老人ホームから、避難所に指定されている学校までの道がどのような様子か、考えられるよ。

【資料6】



- △ 三角点
…国土地理院が設置した、位置の基準になる点。
右の数は、土地の高さを表す。
- ・ 標高点
…右の数は、土地の高さを表す。

(地理院地図をもとに作成)



問4 ゆりさんとたろうさんは、^{しなのがわ とねがわ}信濃川と利根川について話をしています。信濃川と利根川に関する【資料7】～【資料9】をもとに、【資料10】のA～Cが示す地点を正しく組み合わせているものを、あとのア～カから一つ選び、記号で答えましょう。

たろう：川といえば、日本でいちばん長い川は、信濃川だね。その信濃川についても知りたくて、調べてみたんだ。信濃川と利根川について比べた資料があって、それぞれの特ちょうがわかったよ。

ゆり：どのような特ちょうがあったの。

たろう：季節による流量にちがいが見られることだね。冬に雪が多い信濃川の流域では、春になると雪解け水が多くなって流量が多くなるんだよ。流量が調整されている場所もあるから、そうではない場所もあるけどね。【資料7】、【資料8】、【資料9】から、【資料10】のA～Cがどの地点の月平均流量を示しているかわかるよ。

【資料7】川の流量の観測地点

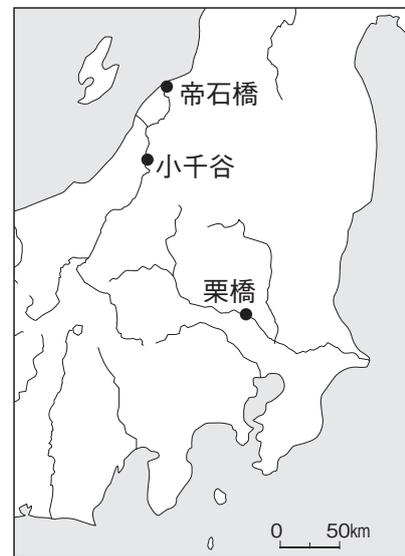
栗橋…利根川流域の、埼玉県久喜市にある。利根川をはさんで茨城県古河市と接している。

小千谷…信濃川流域の、新潟県小千谷市にある。小千谷市は、十日町市と接している。

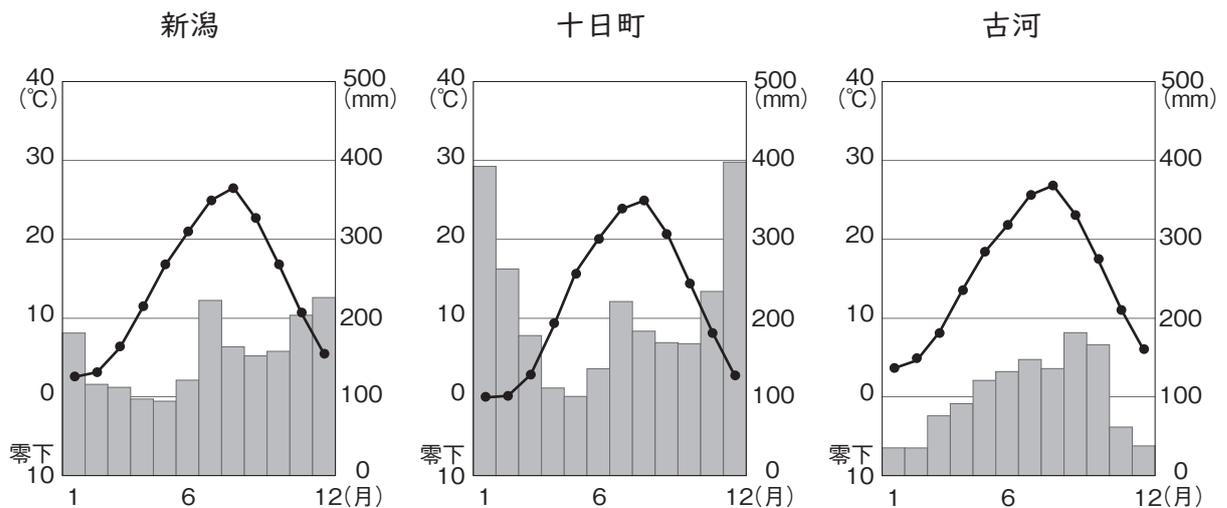
帝石橋…信濃川下流の、新潟県新潟市にある。帝石橋よりも上流に分水路があり、上流からの洪水はその分水路から日本海に出されている。また、洗堰があり、年間を通して一定量の水を信濃川下流へ流すように調整している。

(信濃川下流河川事務所ウェブサイトをもとに作成)

【資料8】観測地点の場所

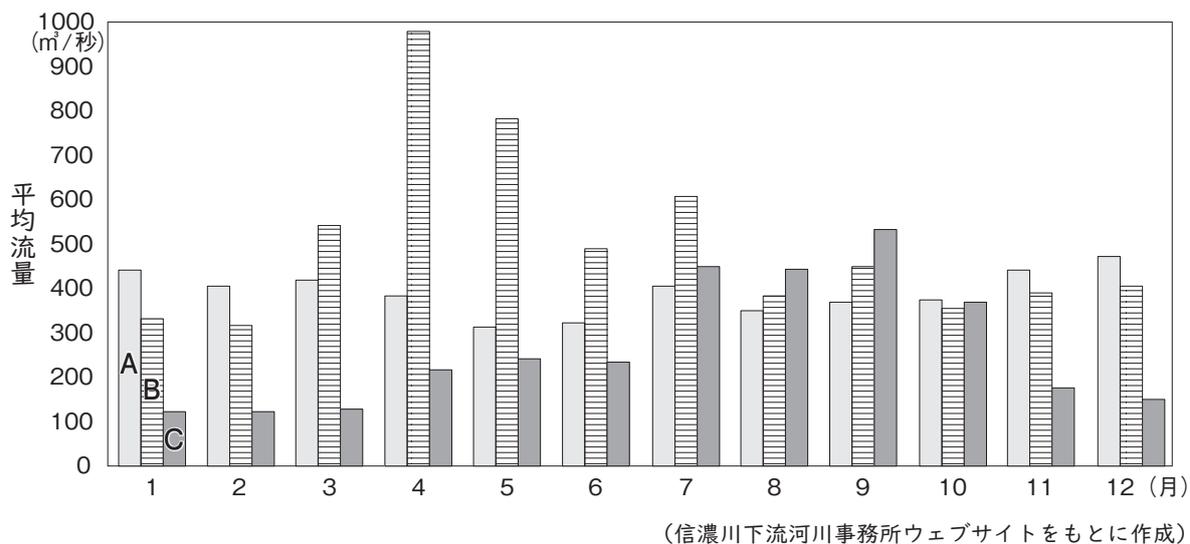


【資料9】新潟・十日町・古河の気温と降水量



(気象庁ウェブサイトより作成)

【資料 10】 栗橋、小千谷、帝石橋のいずれかの地点における 1999 年～2008 年の月平均流量



- | | | | |
|---|---------|---------|---------|
| ア | A : 栗橋 | B : 小千谷 | C : 帝石橋 |
| イ | A : 栗橋 | B : 帝石橋 | C : 小千谷 |
| ウ | A : 小千谷 | B : 栗橋 | C : 帝石橋 |
| エ | A : 小千谷 | B : 帝石橋 | C : 栗橋 |
| オ | A : 帝石橋 | B : 栗橋 | C : 小千谷 |
| カ | A : 帝石橋 | B : 小千谷 | C : 栗橋 |

4

ゆりさんとたろうさんは、お金について話をしています。あとの問いに答えましょう。

問1 ゆりさんとたろうさんは、現在使われている紙幣しへいにかかれた人物と、2024年から発行される新紙幣にかかれる人物について話をしています。【資料1】の説明と【資料2】の年表を見て、北里柴三郎きたさとしばさぶろう、津田梅子つだうめこ、渋沢栄一しぶさわえいちの生きた時期を示している矢印を、【資料2】中のア～カからそれぞれ一つずつ選び、記号で答えましょう。

ゆり：2024年に発行される紙幣には、千円札に北里柴三郎、五千円札に津田梅子、一万円札に渋沢栄一がかかれるんだよね。早く実物を見てみたいな。

たろう：今の紙幣には、千円札に野口英世のぐちひてよ、五千円札に樋口一葉ひぐちいちよう、一万円札に福沢諭吉ふくざわ ゆきちがかいてあるね。野口英世と福沢諭吉については知っているけれど、他の人たちの業績についてももっと知りたいな。

ゆり：どの時代に生きて、どのように活やくしたのか、調べてまとめてみよう。

【資料1】現在の紙幣にかかっている人物と新紙幣にかかれる人物



野口英世

20才で医師の資格を取得し、21才のときに伝染病研究所で勤務しました。その後はアメリカを中心として世界で活やくし、ノーベル賞候補にもなりました。アフリカで黄熱病の研究中に感染し、51才で命を落としました。



樋口一葉

兄の病死、父親の事業の失敗と病死により、18才で一家の生計を支えるために小説家を志しましたが、生活難に苦しみました。『にごりえ』や『たけくらべ』などが代表作です。肺結核はいけつかくのために24才でなくなりました。



福沢諭吉

25才のとき、幕府の遣米使節けんべいしに志願してアメリカにわたり、身分に関係なく、能力次第で活やくできる社会に感動しました。「天は人の上に人をつくらず、人の下に人をつくらず」で始まる『学問のすゝめ』を書きました。



北里柴三郎

32才から6年間にわたってドイツに留学し、その間に破傷風の血清療法を確立して、世界的な研究者としての名声を得ました。帰国後間もなく、福沢諭吉らの支援により伝染病研究所しえんを創立し、伝染病予防と細菌学さいきんの研究に取り組みました。41才のときには、ペスト菌を発見しました。



津田梅子

6才のとき、女子留学生の一人として岩倉使節団とともにアメリカにわたり、17才で帰国しました。24才で英語を専門に教えていた学校を退職して再びアメリカへ留学。その後、35才のときに後の津田塾大学となる女子英学塾を開いて、女性の教育のためにつくしました。



渋沢栄一

27才のとき、15代将軍となった徳川慶喜とくがわよしのぶの弟・徳川昭武あきたけとともにパリで開かれた万国博覧会を見学し、ヨーロッパ諸国の実態も見聞しました。帰国後は政府の役人として、富岡製糸場の建設などにたずさわりました。政府の仕事から退いた後は、企業の創設・育成に力を入れました。

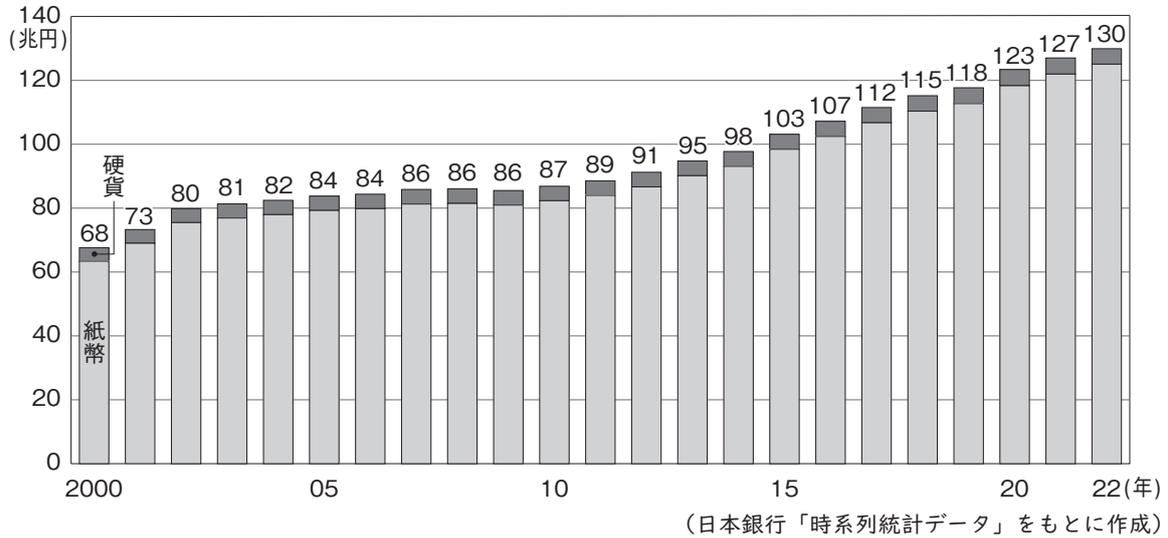
(画像提供：イメージマート)

【資料2】年表

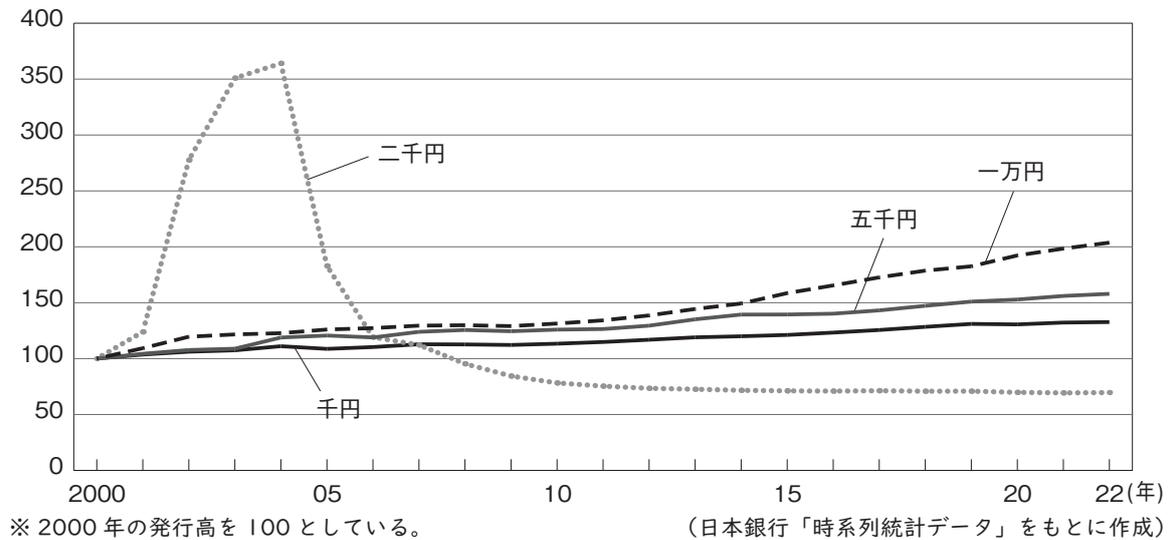
年	できごと	【資料1】の人物が生きた時期
1837	おおしおへいはちろう 大塩平八郎の乱が起こる	<p>ア</p>
1853	ペリーが浦賀 ^{うらが} に来る	
1858	日米修好通商条約が結ばれる	
1860	幕府が遣米使節を送る	
1867	パリで万国博覧会が開かれる 徳川慶喜が政権 ^{ちやうてい} を朝廷に返す	
1871	岩倉使節団がアメリカに向かう	
1872	『学問のすゝめ』の刊行が始まる 富岡製糸場が操業を開始する	
1892	私立伝染病研究所が設立される (1899年に国立となる)	
1894	北里柴三郎がペスト菌を発見する	
1895	『たけくらべ』が発表される	
1900	女子英学塾が設立される	イ
		ウ
		エ
		オ
		カ
1923	関東大震災が起こる	

問2 ゆりさんとたろうさんは、日本のお金の流通に興味をもち、次の【資料3】～【資料5】を見つけました。紙幣の発行高は出回っている紙幣の合計金額、硬貨の流通高は出回っている硬貨の合計金額です。【資料3】～【資料5】から読み取れることとして最も適切なものを、あとのア～エから一つ選び、記号で答えましょう。

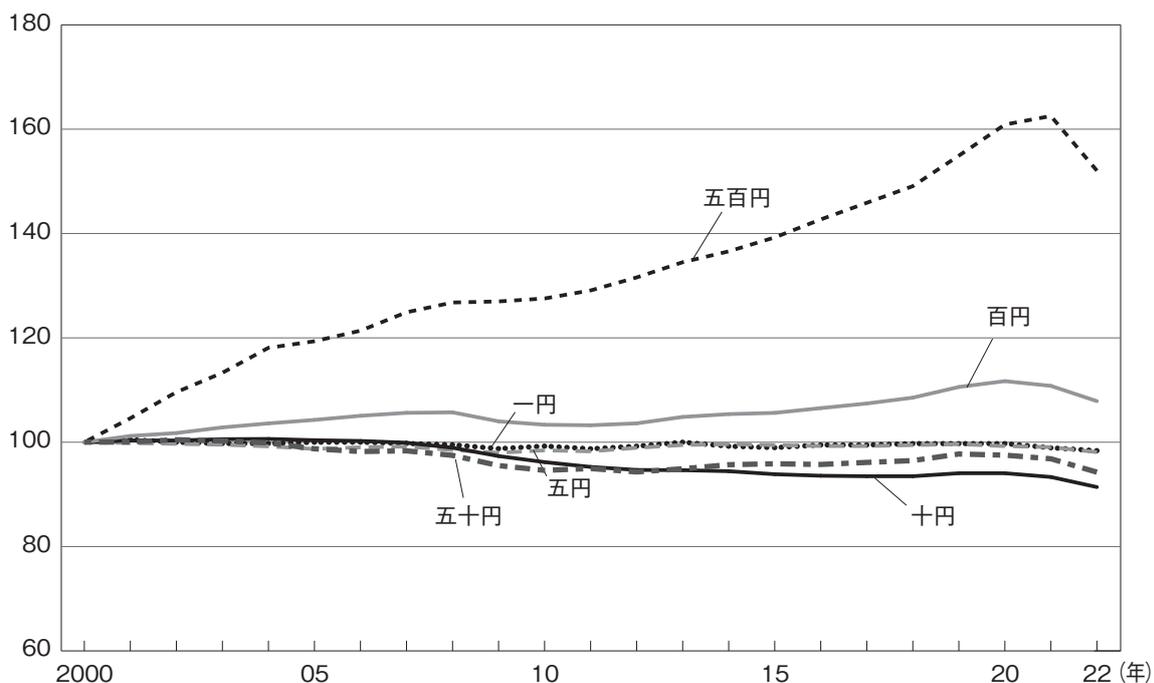
【資料3】お金の流通高（紙幣発行高、硬貨流通高）の変化



【資料4】紙幣の発行高の変化



【資料5】硬貨の流通高の変化



※ 2000年の発行高を100としている。

(日本銀行「時系列統計データ」をもとに作成)

- ア お金の流通高は、2000年から増え続けており、そのほとんどを紙幣がしめている。紙幣のうち、2000年と比べたときの2022年の発行高が最も多いのは一万円札で、金額が低くなるほど発行高は少なくなっている。
- イ お金の流通高は、2000年から増え続けており、22年間で2倍以上に達している。その主な理由は、最高額紙幣である一万円札の発行高と最高額硬貨である五百円玉の流通高の増加によるものである。
- ウ お金の流通高は、2012年からの10年間で約40兆円増加している。この10年間では一万円札の発行高が2倍以上に、五百円玉の流通高は約1.5倍に増えている。
- エ お金の流通高は、90兆円をこえた2012年よりあとの年には、毎年約3兆円から約5兆円増加し続け、2020年には120兆円をこえている。理由の一つとしては、一万円札の発行高の増加があげられる。

問3 ゆりさんとたろうさんは、キャッシュレス決済について話をしています。次の会話文の——線部①について、キャッシュレス決済の利用に「必要性を感じない」と回答している人が多い理由として、どのようなことが考えられますか。「から。」に続くように、【資料8】、【資料9】の内容にふれて書きましょう。また、——線部②について、買い物をする人と支払いをしてもらう店の両方の立場からいえることを、「キャッシュレス決済が増えることで、」に続けて、【資料10】、【資料11】の内容にふれて書きましょう。

たろう：お母さんが、最近現金を使わないで電子マネーやクレジットカードで買い物をすることが多いと言っていたんだ。

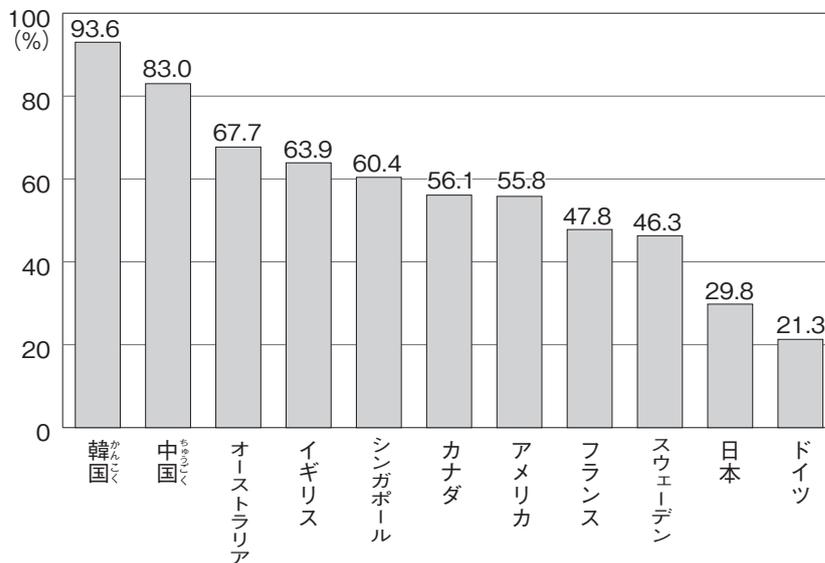
ゆり：キャッシュレス決済をしているんだね。

たろう：でも、この【資料6】にあるように、日本では、他の国と比べてキャッシュレス決済があまり使われていないんだって。どうしてか気になって、調べてみたんだけど、この【資料7】、【資料8】、【資料9】を見つけたよ。【資料7】は、日本で行われたキャッシュレス決済についてのアンケート結果だよ。

ゆり：【資料7】では、^①キャッシュレス決済の利用に「必要性を感じない」と回答している人が多いけど、その理由は、日本は【資料8】、【資料9】のような状況だからだね。

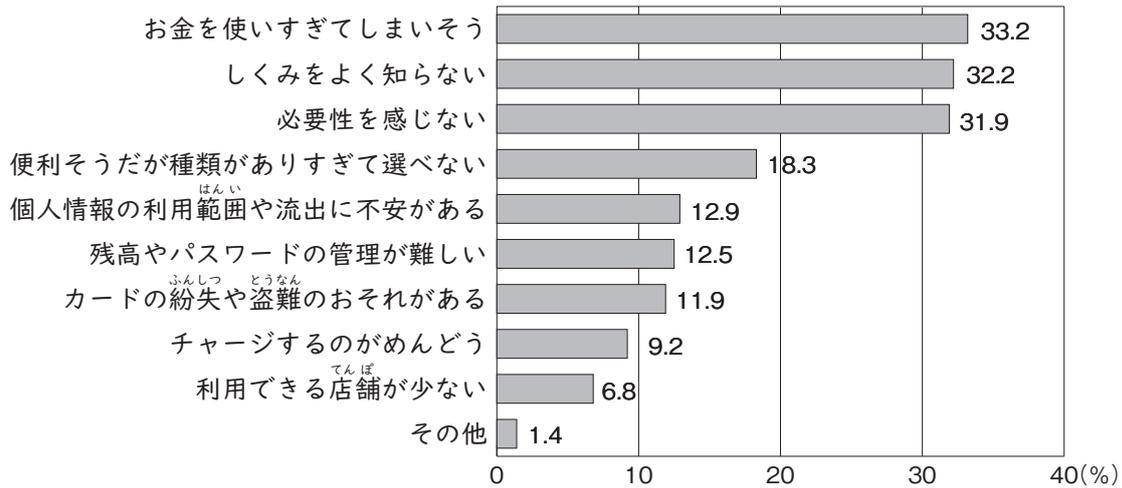
たろう：そうだね。それから、【資料10】と【資料11】から、^②キャッシュレス決済が増えるとよいことも考えられると思うんだ。

【資料6】主な国のキャッシュレス決済比率（2020年）



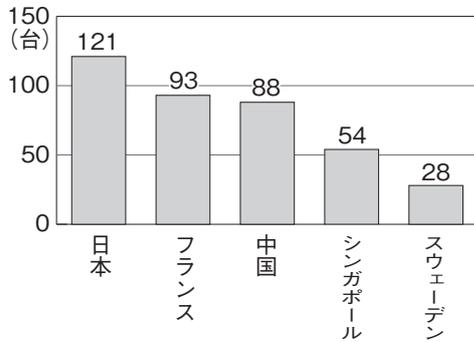
(世界銀行資料などをもとに作成)

【資料7】キャッシュレス決済を利用していない理由（2019年）



(BIGLOBE「キャッシュレスに関する意識調査」をもとに作成)

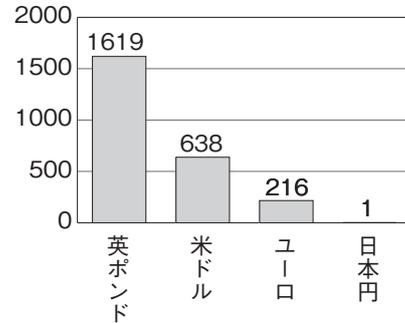
【資料8】成人1万人あたりの*ATM台数（2020年）



*ATM……銀行にお金を預けている人が自分で操作して、現金を預けたり引き出したりできる機械。

(世界銀行資料をもとに作成)

【資料9】紙幣流通量に対するにせ札の割合



*英ポンド・米ドル・ユーロはそれぞれの国や地域で使われているお金の単位。

*米ドルは2006年、それ以外は2012年。

*日本円を1としている。

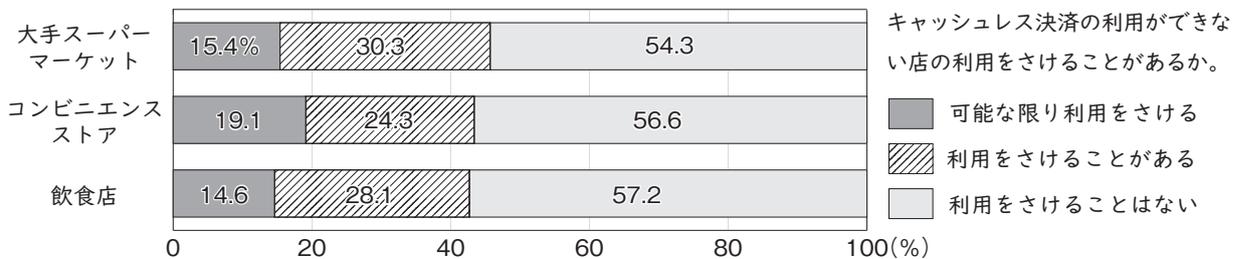
(日本銀行資料などをもとに作成)

【資料10】現金決済とキャッシュレス決済の速度の比較（2021年）

	レジ業務にかかる時間
現金決済	26.1 秒
キャッシュレス決済	16.9 秒

(経済産業省「令和3年度キャッシュレス決済の中小店舗への更なる普及促進に向けた環境整備検討会資料」をもとに作成)

【資料11】キャッシュレス決済利用者へのアンケート結果（2021年）



(経済産業省「令和3年度キャッシュレス決済の中小店舗への更なる普及促進に向けた環境整備検討会資料」をもとに作成)

これで、問題は終わりです。

